

仲間と共に

米崎小学校

六年

佐々木

恵利佳

小学校を卒業するまであと約六ヶ月間。小

学校生活のことが、いろいろとよみがえっ

くる。楽しかったこと、くやしかったこと、

そして悲しかったことなど仲間がいたからこ

そ、感じることができました。

米崎小学校六年生の三十名は、ほぼ一年生

から同じメニバィだ。今では、一人ひとりの

性格や個性がよく分かる。でも意外な面を見

ることもある。それも楽しいことだ。

仲間と共にした約六年間。特に印象深かつ

たことが二つある。

一つは、東日本大震災の経験である。平成

二十三年、三月十一日。突然の大地震と大津

波。学校のグラウンドに避難したか、近くな

で津波がきていること、グラウンドから水が

吹き出したこと、より高台へと避難した。み

んなが、いっしょだった。みんなが無事だった。

みんなと、いっしょに、心強かつた。一人ひと

リの顔を見て安心できた。大きなゆれと津波
 は、とても恐かった。みんなが同じ気持ちだ
 った。なにちがいない。事の重大さを知ってか、
 ケニカをする人やふざけている人はいなかっ
 た。真剣だった。しばらくは春休みとなり、
 何週間かして、学校へ行った。いつもと違う
 気持ちだった。教室へ行って、すぐにほっと
 した。みんなの顔があつた。いつもの顔だっ
 た。仲間っていい。同じ顔だからいい。いつ
 も会えるのもいい。私は津波が来てから後の
 ことをたくさん話した。友達の話をとくさん
 聞いた。話は尽きることはない。私は、
 話ができる仲間って本当にいい。
 と感じた瞬間だった。
 次に、今年五月に行われた運動会のこと。
 今年は、何をするにも小学校最後の行事とな
 る。去年度は、グラウンドに仮設住宅が建て
 られた関係で運動会はできなかつた。しかし、
 近くに運動場ができて、運動会が復活した。
 五・六年生の団体種目は、恒例のムムカテ競

争^レだ。困^ッたことがある。誰一人、ムカ
 デ^レ競走^レの経験がなく、何も分からない。ひ
 もの結び方や走り方など先生に聞いた。私は
 赤組。白組に比べて全^クうま^クい^カない。始
 めのうちには、ゲル^レプ^レ決めばかりや^ッて^レいた。
 それで、全^ク練習が進^マない。ゲル^レプ^レが決
 ま^ッたら、ゲル^レプ^レごと^ニ並^ビ順を決^メる。
 い^ハよ^ハい^ハよ^ハ白組と競走を^シて^レみる。競走を^スる
 た^ハびに差は^シわず^ク縮^マる^カ、やはり白組に
 負^ケて^シま^ウ。リ^レガ^レが、
 頑^ク張^ルう^ハい。
 と^キ言^ッた時、みんなやる^ク気が出^タよう^ニ感^ジ
 た。ゲル^レプ^レが個^ニ定^メたので、今^度は^ハひ^もの
 結^ビ方^ヲ調^整した。か^ケ声^ノ出^シ方^ヲ確^認し
 た。何^度も何^度も同^イこ^トを繰^リ返^シた。う
 ま^クい^ハた^ハゲル^レプ^レがあ^レば^ハそ^レもま^ねして
 みる。赤組の^ハい^ハいとこ^ろは、ケ^ニカ^ニなら^な
 かつた^ハこと。き^ッと責^めたい^ハ気持^チは、あ^ッ
 た^ハか^マん^シて^レいた^ハと思^ウ。や^ッと本^格的
 に走^ル段^階にな^ッた。

「一、二、一、二」

とかけ声と共に、走り始める。転んだ。転んだ。また転んだ。スムーズにバトニがっながらない。これでは、だめだと、休み時間や朝練習など、少しでもひまがあれば、「ムカデ競争」に取りかかる。

いよいよ当日。みんな真剣な表情だ。足あわせやひもの結び方も千エツクしている。

ピストルの音で、一組目がスタートした。

赤組がリードしている。二組目は、白組が追

いつき、同じぐらいだ。私の組、三組目にバ

トンが手渡された。声をかけて走り始める。

「転ぶな、転ぶな、一、二。一、二」

と心の中で叫ぶ。白組が少しおくれたのが見えた。私達の組が差を広げた。四組目は、少し差を広げ、いよいよアーカーの五組。五組目は速いゲループ。まわりから

「頑張れ、頑張れ、もう少し」

と大きな声援がとび。会場全体が注目している。そのままゴール。

「やった。白組に始めて勝った。」

みんなは、口々に叫んだ。勝った。勝つこと

ができた。大喜びする赤組。その顔は、喜び

に満ちあふれていた。頑張った。良かった。赤

組の練習した成果が出た。時間をかけて話し

合ったことは、決してムダではなかった。赤

組が一っとなった。

平成二十五年四月。私が進学する予定の米

崎中学校は、近くの二つの中学校と統合する。

きつと、ニクラスか、三クラスになるだろう。

米崎小学校を卒業する三十名も分けられるだ

ろう。六年間積み重ねてきた千ムワルクと

も、残念ながらお別れだ。統合することに対

して期待すること、楽しみなことがある。新

しい仲間と出会い、中学校でも今まで以上に

千ムワルクのすばらしい学級にしたいとい

う願いはある。

ありがとう、米崎小学校のみんな。

そして、これからもよろしく。